



## 平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 工藤建設株式会社  
コード番号 1764 URL <http://www.kudo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 工藤 英司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 秋澤 滋

TEL 045-911-5300

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年6月期第1四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	2,155	△27.0	△182	—	△224	—	△210	—
24年6月期第1四半期	2,953	11.4	△59	—	△109	—	△112	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	△16.23	—
24年6月期第1四半期	△8.64	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	13,320	—	2,101	—	—	15.8
24年6月期	12,168	—	2,378	—	—	19.5

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 2,101百万円 24年6月期 2,378百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	—	—	5.00	5.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,279	△0.1	0	—	△74	—	△74	—	△5.70
通期	16,171	12.3	550	△1.6	400	7.0	229	△10.2	17.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期1Q	13,312,200 株	24年6月期	13,312,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年6月期1Q	337,989 株	24年6月期	337,387 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	12,974,475 株	24年6月期1Q	12,975,871 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績等に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1 四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機の長期化や金融資本市場の不安定な動向、さらには、世界景気を牽引してきた中国の景気にやや減速感が出始めるなど、東日本大震災の復興需要等により一部に持ち直しが見られた国内景気は、依然下振れ懸念を抱えたまま不安定な状況で推移しております。

この結果、当第1四半期累計期間における業績は、例年第3・第4四半期会計期間に売上げが集中するという季節要因もあるため、売上高21億55百万円（前年同期比27.0%減）、営業損失1億82百万円（前年同期は営業損失59百万円）経常損失2億24百万円（前年同期は経常損失1億9百万円）、四半期純損失は2億10百万円（前年同期は四半期純損失1億12百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、セグメント利益は四半期損益計算書における営業利益に対応しております。

#### ①建設事業

建設部門では、賃貸住宅および分譲マンションのリニューアル事業に積極的に取り組みました。また、戸建住宅部門では、主力商品である「地下室付き2×6」住宅を中心に販売拡大に努めてまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間は、大型の引渡し物件が少なかった事もあり当事業の売上高は3億96百万円（前年同期比55.3%減）、営業損失は1億5百万円（前年同期は営業損失39百万円）となりました。

#### ②建物管理事業

建物管理部門、賃貸管理部門、家賃管理部門のいずれも、管理物件数は増加したものの、賃料水準は低下傾向にあり、また空室率は概ね11%程度で推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は7億79百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は38百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

#### ③介護事業

介護部門では、有料老人ホーム9施設の稼働率は概ね93.5%程度で安定的に推移しております。しかしながら3箇所のデイサービスの利用率が、近隣他事業所との競争激化により大幅に低下しました。

以上の結果、当事業の売上高は8億86百万円（前年同期比4.6%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

#### ④不動産事業

戸建分譲事業である、横浜市港北区の「ヒルタウン横浜小机」は第3期の造成中、また、マンション分譲事業である、横浜市鶴見区の「フローレンスシティ横浜生麦公園」も現在建設中であり、当四半期においては小型物件の販売のみとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は92百万円（前年同期比76.7%減）、営業利益は4百万円（前年同期比88.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は133億20百万円（前事業年度末残高121億68百万円）となり11億51百万円増加しました。その主な要因は、現金預金が5億31百万円増加し、未成工事支出金が8億64百万円増加したことにあります。

##### (負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は112億18百万円（前事業年度末残高97億90百万円）となり14億28百万円増加しました。その主な要因は、未成工事受入金が11億45百万円増加したことにあります。

##### (純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は21億1百万円（前事業年度末残高23億78百万円）となり2億76百万円減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金同等物は15億76百万円（前第1四半期累計期間は6億59百万円）となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、29百万円プラス（前第1四半期累計期間5億91百万円マイナス）となりました。主な増加要因は未成工事受入金の増加11億45百万円であります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、19百万円マイナス（前第1四半期累計期間3億44百万円マイナス）となりました。主な減少要因は定期預金の預入による支出62百万円であります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億61百万円プラス（前第1四半期累計期間6億75百万円プラス）となりました。主な増加要因は長期借入金の借入による収入4億50百万円であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間までの業績は概ね平成24年8月9日に発表いたしました通期の業績予想に沿った内容となっており、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,616,916	2,148,008
受取手形・完成工事未収入金等	855,888	618,517
未成工事支出金	636,331	1,501,143
不動産事業支出金	1,214,659	1,264,756
貯蔵品	6,178	8,808
その他	505,184	521,163
貸倒引当金	△4,058	△1,510
流動資産合計	4,831,102	6,060,888
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,509,344	1,509,344
その他	1,052,059	1,039,247
有形固定資産合計	2,561,403	2,548,592
無形固定資産		
無形固定資産合計	242,163	231,953
投資その他の資産		
差入保証金	3,531,122	3,478,810
その他	1,122,069	1,120,227
貸倒引当金	△119,070	△120,153
投資その他の資産合計	4,534,121	4,478,885
固定資産合計	7,337,687	7,259,430
資産合計	12,168,790	13,320,318
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	977,426	770,898
短期借入金	523,400	866,000
1年内返済予定の長期借入金	1,384,490	1,617,680
1年内償還予定の社債	107,600	107,600
未払法人税等	25,823	5,678
未成工事受入金	888,857	2,034,257
完成工事補償引当金	77,096	75,100
その他	734,280	730,491
流動負債合計	4,718,973	6,207,705

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	184,000	155,200
長期借入金	2,925,570	2,904,740
長期預り保証金	1,859,415	1,849,891
退職給付引当金	61,900	61,224
その他	40,767	40,214
<b>固定負債合計</b>	<b>5,071,653</b>	<b>5,011,270</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,790,626</b>	<b>11,218,976</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	867,500	867,500
資本剰余金	549,500	549,500
利益剰余金	1,043,025	767,528
自己株式	△87,185	△87,263
<b>株主資本合計</b>	<b>2,372,839</b>	<b>2,097,264</b>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,324	4,077
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>5,324</b>	<b>4,077</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,378,163</b>	<b>2,101,342</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,168,790</b>	<b>13,320,318</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
完成工事高	1,022,749	495,998
不動産事業等売上高	1,083,054	772,282
介護事業売上高	847,914	886,828
売上高合計	2,953,718	2,155,109
売上原価		
完成工事原価	886,498	418,866
不動産事業等売上原価	983,444	703,648
介護事業売上原価	777,902	827,025
売上原価合計	2,647,845	1,949,540
売上総利益		
完成工事総利益	136,250	77,132
不動産事業等総利益	99,609	68,633
介護事業総利益	70,012	59,803
売上総利益合計	305,873	205,569
販売費及び一般管理費	365,578	388,058
営業損失(△)	△59,704	△182,489
営業外収益		
受取利息	3,293	3,242
受取配当金	2,702	2,022
助成金収入	2,050	300
その他	5,520	1,671
営業外収益合計	13,566	7,235
営業外費用		
支払利息	59,230	45,150
貸倒引当金繰入額	319	—
その他	3,499	3,952
営業外費用合計	63,050	49,103
経常損失(△)	△109,188	△224,357
特別利益		
固定資産売却益	426	—
特別利益合計	426	—
税引前四半期純損失(△)	△108,761	△224,357
法人税、住民税及び事業税	3,511	395
法人税等調整額	△100	△14,130
法人税等合計	3,411	△13,734
四半期純損失(△)	△112,172	△210,622

## （3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成24年7月1日 至平成24年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△108,761	△224,357
減価償却費	38,038	37,325
貸倒引当金の増減額（△は減少）	319	△1,465
工事損失引当金の増減額（△は減少）	65,281	—
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,906	△676
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△82,500	—
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	216	△1,996
受取利息及び受取配当金	△5,996	△5,264
支払利息	59,230	45,150
固定資産売却損益（△は益）	△426	—
売上債権の増減額（△は増加）	47,371	233,073
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△113,872	△864,811
不動産事業支出金の増減額（△は増加）	△47,193	△50,096
仕入債務の増減額（△は減少）	△399,655	△206,528
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△24,112	1,145,400
不動産事業受入金の増減額（△は減少）	△7,800	15,530
その他	63,348	△23,692
小計	△520,417	97,592
利息及び配当金の受取額	3,813	3,115
利息の支払額	△62,079	△55,153
法人税等の支払額	△12,440	△15,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	△591,123	29,663
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,063	—
定期預金の預入による支出	△224,609	△62,913
有形固定資産の取得による支出	△208,935	△5,013
有形固定資産の売却による収入	500	—
投資有価証券の取得による支出	△300	—
長期貸付金の回収による収入	246	459
その他	△11,742	47,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344,776	△19,693
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（△は減少）	470,000	342,600
長期借入れによる収入	510,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△200,499	△237,640
社債の償還による支出	△38,800	△28,800
自己株式の取得による支出	△17	△77
配当金の支払額	△64,879	△64,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	675,803	461,208
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△260,095	471,177
現金及び現金同等物の期首残高	919,508	1,105,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	659,413	1,576,460

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計	調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	建設事業	建物管理事業	不動産販売事業	介護事業			
売上高							
(1)外部顧客への売上高	887,187	821,274	397,342	847,914	2,953,718	—	2,953,718
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	887,187	821,274	397,342	847,914	2,953,718	—	2,953,718
セグメント利益又は損失(△)	△39,594	40,151	37,827	16,122	54,506	△114,211	△59,704

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,211千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計	調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	建設事業	建物管理事業	不動産販売事業	介護事業			
売上高							
(1)外部顧客への売上高	396,528	779,292	92,460	886,828	2,155,109	—	2,155,109
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	396,528	779,292	92,460	886,828	2,155,109	—	2,155,109
セグメント利益又は損失(△)	△105,316	38,257	4,351	△3,999	△66,706	△115,783	△182,489

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△115,783千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。